



戸外で制作中の向井潤吉



アトリエの宮本三郎

同時代の二人

——向井潤吉と宮本三郎

2012年4月3日(火)～7月29日(日)

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL:03-5483-3836
www.miyamotosaburo-annex.jp/

開館時間=午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日=毎週月曜日(ただし、祝・休日の場合は開館、翌日休館)

観覧料=一般200(160)円、大高生150(120)円、中小生100(80)円、65歳以上及び障害者の方100(80)円

* ()内は20名以上の団体料金。小・中学生は土、日、祝・休日及び夏休み期間は無料。

* 障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名につき、1名に限る)は無料。

交通案内=東急大井町線・東横線「自由が丘」駅 徒歩7分／東急大井町線「九品仏」駅 徒歩8分／東急目黒線「奥沢」駅 徒歩8分

同時代の二人——向井潤吉と宮本三郎

ともに世田谷ゆかりの洋画家であり、その住居兼アトリエ(跡)が世田谷美術館分館として開設された向井潤吉(1901-1995)と宮本三郎(1905-1974)。かたや日本各地の茅葺屋根の民家、かたや絢爛な色彩による裸婦像で知られる向井と宮本の両名は、戦前は二科会をおもな発表の場とし、戦中は軍部の依頼によって戦争記録画の制作に従事。戦後二科会が解散してのちは、向井は行動美術協会を、宮本は第二紀会を創立するなど、発表の場こそ異なりましたが、画家としての歩みを始めた初期からお互いの家を行き来するなど、生涯にわたって親しい間柄でありました。

本展は、明治から大正・昭和の同時代を生き、そのような親交のあった向井と宮本の作品を、共通の主題でセレクトする展覧会です。裸婦のデッサンや西洋古典絵画の模写からは、洋画家としての基礎的な鍛錬を怠らなかった二人の姿が見て取れる一方で、その描画から画家としての差異も浮かび上がることでしょう。共通の体験として持つ、ヨーロッパ遊学や戦争記録画制作による現地の風景を描いた作品についても、同様のことがうかがわれます。向井であれば民家、宮本であれば裸婦といった代表的な作例もまじえることで、同時代を生き、互いに切磋琢磨しながら、次第に独自の表現が形作られてゆく二人の足跡をご覧いただければ幸いです。

昭和5年6月、私は駒込のキャメル工場を改築したアパートに落ちついて東京生活を始めたが、その家の玄関脇の部屋には、改造社に勤めていた作家志望の上林暁さんが牢名主然として肩をいからして住んでいた。そして11月、目蒲線の武蔵小山の奥に転居したが、一つ先の西小山駅近くに宮本三郎君夫妻が美音子ちゃんを中にして居を構えていた。お互いに二科会の出品者であり、またよく京都を知っていた因縁からすぐ親しくなつて、毎夜のように往き来を繰り返した。

向井潤吉「茫々」五十年 宮本三郎君と私(宮本三郎回顧展図録、朝日新聞社、1980年)



宮本三郎《不詳(兵士)》
紙・コンテ・水彩、1943年



向井潤吉《不詳(軍用機の中)》
紙・水彩、1937-44年頃



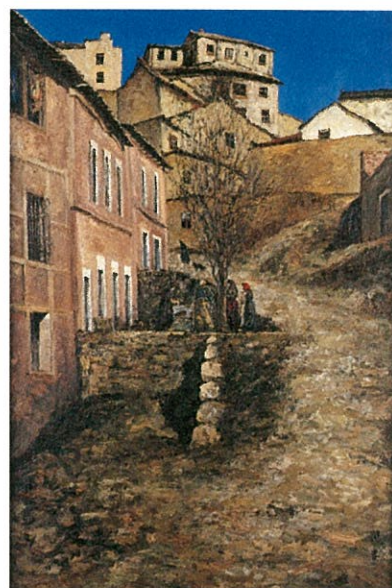
宮本三郎《トレドの道》油彩・カンヴァス、1952-53年頃



宮本三郎《不詳(裸婦)》油彩・カンヴァス、1969-70年頃



向井潤吉《春塘》油彩・カンヴァス、1984年



向井潤吉《トレド新春》油彩・カンヴァス、1960年

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL:03-5483-3836

www.miyamotosaburo-annex.jp/

交通=東急大井町線・東横線「自由が丘」駅 徒歩7分/東急大井町線「九品仏」駅 徒歩8分/
東急目黒線「奥沢」駅 徒歩8分



©宮本和義



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

TEL:03-3415-6011(代)

ハローダイヤル 03-5777-8600

www.setagayaartmuseum.or.jp/

*詳細はホームページなどでご確認ください。

予告

リオープン記念展

福原コレクション

駒井哲郎1920-1976

4月28日(土)~7月1日(日)

ミュージアム コレクション I

世田谷アーティスト・コロニー

「白と黒の会」の仲間たち

3月31日(土)~6月17日(日)

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1

TEL:03-5450-9581 www.mukaijunichi-annex.jp/

向井潤吉 陸奥への旅

4月3日(火)~7月29日(日)



©宮本和義

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17

TEL:03-3416-1202 www.kiyokawataiji-annex.jp/

清川泰次のアトリエ I

4月3日(火)~7月29日(日)



©宮本和義